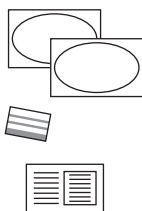


3M™ スコッチテント™ オートフィルム ピュアカット89セルフ 取扱説明書

内容物

- ・オートフィルム(ピュアカット89 DIY) × 2枚
- ・スキージー(施工用ヘラ) × 1個
- ・取扱説明書 × 1枚



ご用意していただくもの

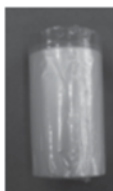
- ・水(500ml)
- ・中性洗剤(3~4滴程度)
- ・霧吹き
- ・キッチンペーパー等(吸水性のある素材)

合わせて
施工液を
作ります



あると便利なもの

- ・養生フィルム
(車の内装を施工液から保護する時に使用します)
右写真のようにテープとフィルムが一体化しています。
ホームセンター等で販売しています。(約100~500円)



推奨する施工場所

- ・ガレージ等の屋内など(フィルム同士がくっついてしまうことや、ゴミの付着を防ぐため、風の影響がない場所)

【お問合せ先】

八欧産業株式会社

03-3333-1401

受付時間/9:00~18:30 月~土(日祝・年末年始は除く)

施工上の注意事項

- ・窓ガラスの内側に貼るフィルムです。(外側用ではありません)
- ・最初に、窓ガラスの内側を十分に洗浄してください(ゴミ入り防止)
- ・フィルムは丁寧に取り扱いしてください。(乱雑に扱うとフィルムが折れたり傷の原因となります)
- ・フィルムを剥離シートから剥がす際は、途中で切れないよう丁寧にゆっくりはがしてください。
- ・スキージー(施工用ヘラ)はテープの貼ってある側をご使用ください。
- ・施工後にフィルムとガラスの間に水が残った場合は無理に水抜きをせず放置してください。
夏季:3日間程度、冬季:10日間程度で蒸発します。無理に水抜きすると白濁化等の不具合の原因となります。
- ・施工後すぐは水分の影響で若干のくもりが見られることがありますが、時間経過と共に消失します。
- ・重ね貼りはしないでください。

その他注意事項

- ・自動車フロントガラス及び運転席・助手席側面ガラスは法律で可視光線透過率が70%以上あることが義務付けられています。
本製品はフィルム単体で89%の透過率がありますが、フィルム貼り付け後の透過率70%以上を保障するものではありません。
- ・フィルム面が汚れた場合は、ガラスクリーナーを使用し、やわらかいクロスで汚れを拭き取ってください。
- ・フィルム表面は硬い物やブラシ・研磨剤でこすらないでください。傷の原因となります。
- ・施工後のご使用状況や車の保管条件による経年劣化の程度により、視認性劣化もしくは歪みが発生する場合があります。視認性もしくは歪みの変化を認識された場合には、直ちにフィルムのご使用を中止してください。

返品・交換について

弊社は、お客様の都合による返品・返金・交換はお受けいたしません。ただし、ご購入いただいた商品の配送中の破損、不良、商品違いおよび数量違いがあった場合には、別途弊社が指定する方法で良品とお取り替えいたします。それ以外の責任についてはご容赦いただきます。

フィルムの貼り方

使うもの

施工液



キッチンペーパー




フィルム




スキージー (施工用ヘラ)



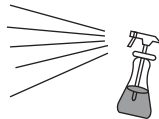
1 はじめに
窓の内側のお手入れ




窓の内側全体に施工液を噴射してキッチンペーパーで拭き取ります。
(※必要であれば車内を養生してください)

 ティッシュペーパーやケバの出るタオルは、ホコリが付着するので使用しないでください

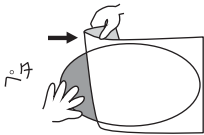
2 窓の内側に施工液を
たっぷり噴射




キレイになった窓全体にたっぷり施工液を噴射します。

 乾いた窓にフィルムを貼ると、位置調整が難しくなります。たっぷり吹きましょ

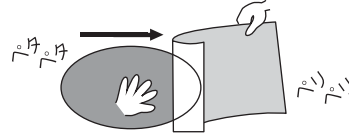
3 フィルムの3分の1を
剥がして、貼る




フィルムをゆっくり丁寧に3分の1程度剥がし、位置を考えて貼ります。

 剥がす時に、フィルムが切れたり・折れたり・くっついたりしないよう、注意しましょう

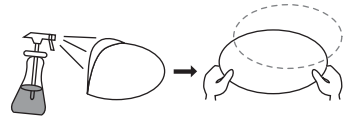
4 残りのフィルムを
剥がしながら貼る




先に貼ったフィルムを押さえ、残り部分を剥がしながら貼ります。

 残りを貼る際に内窓が乾いてしまっていたら、再度施工液を噴射して濡らしてください

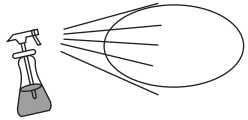
5 フィルムの貼り位置を
調整をしたい時




フィルムの端から内側(糊面)に施工液を噴射してフィルムを1度剥がし、貼りなおします。

 窓が乾いた状態や、フィルムを貼ったまま横に動かすと、糊が残ってしまうことがあります

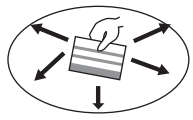
6 貼ったフィルムの上に
施工液を噴射




貼ったフィルムの上から施工液をたっぷり噴射します。

 次の手順で行うスキージーのすべりを良くするために、たっぷり噴射してください

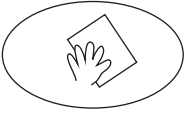
7 スキージー (施工用ヘラ)
を使って空気・水抜き




フィルムの上を、内側から外側に向かってスキージーで力を入れてこすり、中の空気・水を抜きます。

 スキージーはテープの貼ってある面でこすってください

8 キッチンペーパーで
やさしく拭き取り



窓・フィルムについている施工液をキッチンペーパーでやさしく丁寧に拭き取ります。

 この時に強い力で上からこすると、フィルムがクシャッとなってしまうことがあります

完成!

- ・フィルムが十分に密着するまで、夏季:3日間程度、冬季:10日間程度かかります。施工後、この期間中は極力窓の開閉は避けて下さい。剥がれの原因となります。
- ・施工後にフィルムとガラスの間に水が残った場合は無理に水抜きをせず放置してください。夏季:3日間程度、冬季:10日間程度程度で蒸発します。無理に水抜きすると白濁化等の不具合の原因となります。